

2024年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年4月12日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社ビックカメラ
 コード番号 3048 URL <https://www.biccamera.co.jp/ir/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 秋保 徹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 安部 徹 TEL 03-3987-8785
 四半期報告書提出予定日 2024年4月12日 配当支払開始予定日 2024年5月17日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年8月期第2四半期の連結業績(2023年9月1日～2024年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期第2四半期	447,524	9.8	9,754	32.1	10,963	30.2	5,554	32.1
2023年8月期第2四半期	407,653	3.9	7,382	△21.8	8,422	△21.0	4,205	△11.9

(注) 包括利益 2024年8月期第2四半期 10,454百万円 (74.0%) 2023年8月期第2四半期 6,009百万円 (△19.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年8月期第2四半期	32.45	32.42
2023年8月期第2四半期	24.57	24.54

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年8月期第2四半期	491,698	184,428	29.5
2023年8月期	449,840	176,383	30.5

(参考) 自己資本 2024年8月期第2四半期 144,857百万円 2023年8月期 137,173百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年8月期	—	5.00	—	10.00	15.00
2024年8月期	—	9.00	—	—	—
2024年8月期(予想)	—	—	—	12.00	21.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(2024年4月12日)公表いたしました「2024年8月期第2四半期連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正並びに期末配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2024年8月期の連結業績予想(2023年9月1日～2024年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	904,000	10.8	19,500	37.2	21,400	29.2	8,800	199.6	51.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年8月期2Q	188,146,304 株	2023年8月期	188,146,304 株
② 期末自己株式数	2024年8月期2Q	16,963,705 株	2023年8月期	16,974,305 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年8月期2Q	171,180,634 株	2023年8月期2Q	171,166,766 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、2024年4月18日(木)に機関投資家、アナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定であります。その模様及び説明内容(音声)につきましては、四半期決算説明資料とともに当社ウェブサイトに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	10
(重要な後発事象)	11
3. 補足情報	12
生産、受注及び販売の実績	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2023年9月1日から2024年2月29日まで)におけるわが国経済は、このところ足踏みもみられるものの、緩やかに回復しております。企業収益は、総じてみれば改善し、雇用情勢は改善の動きがみられる一方で、個人消費は持ち直しに足踏みがみられます。

当家電小売業界における売上は、スマートフォン等が好調に推移いたしました。洗濯機、冷蔵庫、テレビ、パソコンやゲーム等が低調であったため、総じて低調に推移いたしました。

こうした状況下にあつて、「専門性と先進性で、より豊かな生活を提案する、進化し続けるこだわりの専門店の集合体」と定めた企業理念のもと、経営戦略として「ビックカメラらしい強い店舗を取り戻す」を掲げ、その実現に向け、「人を成長の原動力とする」を筆頭に、「強い店舗の再構築」、「収益構造の抜本的見直し」及び「中長期の成長戦略」を4大施策として取り組んでおります。

新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んでいた免税売上は、足元ではコロナ前の水準まで回復しております。

店舗展開におきましては、グループ会社の株式会社コジマが、2023年11月23日の「コジマ×ビックカメラ 新さっぽろデュオ店」(北海道札幌市)を開店、当社と日本空港ビルディング株式会社との合弁会社のAir BIC株式会社が、臨時休業していた「Air BicCamera 那覇空港店」(沖縄県那覇市)を、2024年4月1日より営業再開しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,475億24百万円(前年同期比9.8%増)、営業利益は97億54百万円(前年同期比32.1%増)、経常利益は109億63百万円(前年同期比30.2%増)、税金等調整前四半期純利益は103億48百万円(前年同期比30.1%増)となりました。法人税等合計が37億5百万円、非支配株主に帰属する四半期純利益が10億88百万円となったため、親会社株主に帰属する四半期純利益は55億54百万円(前年同期比32.1%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(物品販売事業)

売上高は4,412億21百万円(前年同期比10.0%増)、経常利益は99億55百万円(前年同期比37.9%増)となりました。

(BSデジタル放送事業)

売上高は55億47百万円(前年同期比3.0%減)、経常利益は9億24百万円(前年同期比19.2%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産に関する分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ418億57百万円増加(前連結会計年度末比9.3%増)し、4,916億98百万円となりました。主な要因は、売掛金の増加45億19百万円、商品及び製品の増加150億37百万円、のれんの増加86億13百万円によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ338億13百万円増加(前連結会計年度末比12.4%増)し、3,072億69百万円となりました。主な要因は、1年内返済予定の長期借入金の減少18億54百万円、長期借入金の減少73億66百万円があったものの、買掛金の増加79億38百万円、短期借入金の増加265億91百万円によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ80億44百万円増加(前連結会計年度末比4.6%増)し、1,844億28百万円となりました。主な要因は、剰余金の配当(純資産の減少)17億11百万円があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益(純資産の増加)55億54百万円、その他有価証券評価差額の増加(純資産の増加)37億96百万円によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ3億39百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末には754億74百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は39億24百万円(前年同期は132億9百万円の使用)となりました。これは主に、棚卸資産の増加額129億1百万円があったものの、税金等調整前四半期純利益103億48百万円、減価償却費50億90百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は 182億42百万円 (前年同期は 62億7百万円の使用) となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出 16億80百万円、株式会社TDモバイルが営む事業を吸収分割したことに基づく事業譲受による支出 160億61百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は 146億57百万円 (前年同期は 29億55百万円の獲得) となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出 112億20百万円、配当金の支払額 17億9百万円があったものの、短期借入金の純増加額 265億91百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年8月期の通期の連結業績予想につきましては、2023年10月11日公表した数値を修正しております。詳細につきましては、2024年4月12日公表の「2024年8月期第2四半期連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正並びに期末配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	75,135	75,474
売掛金	44,540	49,059
商品及び製品	105,260	120,298
原材料及び貯蔵品	575	736
番組勘定	269	339
その他	21,662	28,912
貸倒引当金	△198	△193
流動資産合計	247,245	274,628
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	25,547	26,051
土地	47,747	47,747
その他 (純額)	9,809	9,443
有形固定資産合計	83,104	83,241
無形固定資産		
のれん	5,303	13,916
その他	26,687	25,623
無形固定資産合計	31,990	39,540
投資その他の資産		
差入保証金	40,641	40,443
その他	47,599	54,582
貸倒引当金	△740	△738
投資その他の資産合計	87,500	94,287
固定資産合計	202,595	217,069
資産合計	449,840	491,698

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	39,919	47,857
短期借入金	78,000	104,591
1年内償還予定の社債	200	200
1年内返済予定の長期借入金	20,304	18,449
未払法人税等	2,817	3,941
契約負債	31,112	31,514
賞与引当金	4,358	4,675
店舗閉鎖損失引当金	135	230
資産除去債務	433	540
その他	27,581	32,694
流動負債合計	204,862	244,695
固定負債		
社債	200	100
長期借入金	24,022	16,656
契約負債	8,781	8,744
商品保証引当金	178	156
店舗閉鎖損失引当金	387	226
関係会社事業損失引当金	47	—
退職給付に係る負債	19,347	20,667
資産除去債務	10,387	10,661
その他	5,241	5,361
固定負債合計	68,593	62,573
負債合計	273,456	307,269
純資産の部		
株主資本		
資本金	25,929	25,929
資本剰余金	27,081	27,076
利益剰余金	99,438	103,282
自己株式	△21,684	△21,670
株主資本合計	130,764	134,617
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,517	9,313
退職給付に係る調整累計額	892	925
その他の包括利益累計額合計	6,409	10,239
新株予約権	211	154
非支配株主持分	38,998	39,417
純資産合計	176,383	184,428
負債純資産合計	449,840	491,698

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)
売上高	407,653	447,524
売上原価	300,271	332,170
売上総利益	107,382	115,354
販売費及び一般管理費	99,999	105,599
営業利益	7,382	9,754
営業外収益		
受取利息	17	30
受取配当金	97	107
持分法による投資利益	—	79
受取手数料	799	828
その他	396	404
営業外収益合計	1,311	1,450
営業外費用		
支払利息	116	142
持分法による投資損失	74	—
その他	80	99
営業外費用合計	270	241
経常利益	8,422	10,963
特別利益		
固定資産売却益	20	4
関係会社事業損失引当金戻入額	—	47
受取保険金	64	—
その他	—	7
特別利益合計	85	60
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	71	78
減損損失	—	595
投資有価証券評価損	465	—
その他	13	1
特別損失合計	550	676
税金等調整前四半期純利益	7,956	10,348
法人税、住民税及び事業税	2,178	2,947
法人税等調整額	432	757
法人税等合計	2,611	3,705
四半期純利益	5,345	6,642
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,140	1,088
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,205	5,554

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)
四半期純利益	5,345	6,642
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	648	3,796
退職給付に係る調整額	15	14
その他の包括利益合計	663	3,811
四半期包括利益	6,009	10,454
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,894	9,384
非支配株主に係る四半期包括利益	1,114	1,069

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	7,956	10,348
減価償却費	4,872	5,090
減損損失	—	595
のれん償却額	347	598
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△28	△7
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△131	317
商品保証引当金の増減額 (△は減少)	△45	△22
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	709	607
受取利息及び受取配当金	△115	△138
支払利息	116	142
持分法による投資損益 (△は益)	74	△79
固定資産売却損益 (△は益)	△20	△4
固定資産除却損	71	78
投資有価証券評価損益 (△は益)	465	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△997	△3,118
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△18,536	△12,901
仕入債務の増減額 (△は減少)	787	7,629
契約負債の増減額 (△は減少)	△1,363	364
その他	△5,417	△3,730
小計	△11,253	5,771
利息及び配当金の受取額	103	128
利息の支払額	△118	△133
法人税等の支払額	△1,939	△1,862
補助金の受取額	—	19
営業活動によるキャッシュ・フロー	△13,209	3,924
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,978	△1,680
有形固定資産の売却による収入	22	104
無形固定資産の取得による支出	△1,738	△1,489
投資有価証券の取得による支出	△119	△509
事業譲受による支出	—	△16,061
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	△414	0
差入保証金の差入による支出	△72	△101
差入保証金の回収による収入	290	1,461
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,359	—
その他	164	35
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,207	△18,242
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	17,656	26,591
長期借入れによる収入	—	2,000
長期借入金の返済による支出	△11,933	△11,220
社債の償還による支出	△115	△100
配当金の支払額	△1,708	△1,709
非支配株主への配当金の支払額	△674	△716
リース債務の返済による支出	△259	△181
その他	△8	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,955	14,657
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△16,460	339
現金及び現金同等物の期首残高	89,536	75,135
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	219	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	73,295	75,474

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、当社の連結子会社であった株式会社ソーモバイルは、株式会社ラネット（連結子会社）を存続会社とする吸収合併（合併期日：2023年9月1日）により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自2022年9月1日至2023年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	連結財務諸表 計上額 (注2)
	物品販売 事業	B Sデジタル 放送事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	401,161	5,671	406,832	821	407,653	—	407,653
セグメント間の内部 売上高又は振替高	34	49	84	0	84	△84	—
計	401,196	5,720	406,916	821	407,738	△84	407,653
セグメント利益	7,221	1,143	8,364	57	8,422	—	8,422

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ケーブルテレビ事業を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「物品販売事業」セグメントにおいて、連結子会社である株式会社ラネットが、株式会社マイテックの株式の100%を取得し同社及び同社子会社の株式会社ソーモバイルを連結子会社としたことにより、のれんを計上しております。前第2四半期連結累計期間において、当該事象によるのれんの増加額は511百万円であります。なお、当該のれんの増加額は、暫定的な会計処理の確定の内容が反映された後の金額となっております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	連結財務諸表 計上額 (注2)
	物品販売 事業	B S デジタル 放送事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	441,195	5,522	446,718	806	447,524	—	447,524
セグメント間の内部 売上高又は振替高	25	24	50	0	51	△51	—
計	441,221	5,547	446,769	806	447,575	△51	447,524
セグメント利益	9,955	924	10,879	84	10,963	—	10,963

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ケーブルテレビ事業を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「物品販売事業」セグメントにおいて、店舗設備等に係る固定資産につき減損損失を計上しております。なお、当第2四半期連結累計期間における当該減損損失の計上額は595百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

当第2四半期連結会計期間における重要な変動はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の実績

セグメント別売上高

セグメントの名称及び品目		当第2四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)		
		売上高 (百万円)	構成比 (%)	前年同期比増減率 (%)
音響映像商品	カメラ	14,799	3.3	17.9
	テレビ	17,685	4.0	△12.4
	レコーダー・ビデオカメラ	5,058	1.1	△6.3
	オーディオ	5,058	1.1	△10.8
	その他	15,643	3.5	3.7
	小計	58,245	13.0	△1.1
家庭電化商品	冷蔵庫	17,108	3.8	△3.5
	洗濯機	19,105	4.3	△5.0
	調理家電	16,627	3.7	1.0
	季節家電	20,481	4.6	△11.8
	理美容家電	24,090	5.4	9.9
	その他	21,770	4.9	△6.6
小計	119,183	26.7	△2.9	
情報通信機器 商品	パソコン本体	25,691	5.7	△17.1
	パソコン周辺機器	13,199	3.0	△11.1
	携帯電話	98,061	21.9	55.4
	その他	26,528	5.9	13.6
小計	163,480	36.5	23.6	
その他の商品	ゲーム	22,945	5.1	△17.0
	時計	6,948	1.6	20.9
	中古パソコン等	15,387	3.4	10.5
	スポーツ用品	5,047	1.1	2.5
	玩具	8,921	2.0	20.4
	メガネ・コンタクト	2,425	0.5	5.5
	酒類・飲食物	4,033	0.9	27.9
	医薬品・日用雑貨	7,018	1.6	32.9
	その他	27,555	6.2	63.1
小計	100,285	22.4	14.9	
物品販売事業		441,195	98.6	10.0
BSデジタル放送事業		5,522	1.2	△2.6
その他の事業		806	0.2	△1.8
合計		447,524	100.0	9.8